

医療情報学科カリキュラム（2006年度入学生用）

\* : 選択科目 [ ] 内の数字は単位数

		1年次	2年次	3年次	4年次
専 門	保健医療基礎	社会福祉総論【2】 臨床検査総論【1】	医学用語【1】	健康管理概論【2】 看護概論【1】 病院情報管理【1】	
	臨床医学基礎	臨床医学総論【2】 臨床医学各論Ⅰ（感染症および寄生虫）【1】 臨床医学各論Ⅱ（新生物）【1】 臨床医学各論Ⅲ（血液・代謝・内分泌等）【1】	臨床医学各論Ⅳ（脳神経・感覚器等）【1】 臨床医学各論Ⅴ（循環器・呼吸器系）【1】 臨床医学各論Ⅵ（消化器・泌尿器系）【1】 臨床医学各論Ⅶ（周産期系）【1】 臨床医学各論Ⅷ（筋骨格系）【1】		
	医療管理学		医療管理論Ⅰ（病院管理と医療制度）【2】 診療情報管理論【2】 分類法総論【2】	医療管理論Ⅱ（医療評価と医療統計）【2】 分類法演習Ⅰ（コーディング基礎）【1】 分類法演習Ⅱ（コーディング応用）【1】	
	情報基礎	コンピュータシステムⅠ（ハード）【2】 コンピュータシステムⅡ（ソフト）【2】 データ構造とアルゴリズム【2】 数値計算法【2】 医療情報学【2】 マルチメディア演習【1】	通信ネットワーク【2】 情報ネットワーク実験【1】 UNIX概論【2】 情報システム実験【1】 データベース論【2】	データベース演習【2】	
教 育	情報応用		プログラム言語Ⅰ（C言語基礎）【2】 プログラム言語Ⅱ演習（C言語基礎）【2】 プログラム言語Ⅲ（C言語応用）【2】 プログラム言語Ⅳ演習（C言語応用）【2】 情報システム概論【2】 情報システム開発論Ⅰ（プロジェクト管理）【2】 地域医療情報システム論【2】	情報システム開発論Ⅱ（分析と評価）【2】 情報システム運用管理論【2】 情報セキュリティ【2】	
	関連情報科学	情報数学【2】 Webシステム演習【1】	応用数学【2】 情報理論【2】	画像処理工学【2】 オブジェクト指向言語【2】 オブジェクト指向言語演習【2】 マルチメディア工学【2】	医用工学概論【2】 デジタル信号処理【2】 意思決定論【2】 自然言語処理【2】 先端情報処理特論【1】
医 療 の 実 践	応用研究			医療情報ゼミⅠ（医療情報入門）【1】 医療情報ゼミⅡ（医療情報応用）【1】 企業実習・病院実習【4】	
	入門	体の仕組みと働きⅠ【2】 栄養学総論【2】	体の仕組みと働きⅡ【2】 医療安全管理学（臨床工学・危機管理学・感染制御学）【2】	公衆衛生学【2】 医療マネジメント論【1】	卒業研究【4】
い の ち の 人 間	発展	医学・医療概論【1】	臨床薬理学【2】	医療マネジメント論【1】	
	実践	ボランティア論【1】	ボランティア活動Ⅰ【1】		協働実践演習【1】
の ち の 人 間	いのち・人間	心理学【2】 医療と人間【2】	生命倫理学【1】	文学【1】	哲学と宗教【2】
	社会科学	コミュニケーション概論【2】 社会学【2】 歴史（医療史）【2】	経済学【2】 法学【2】 認知科学【1】	国際関係論【1】 家族社会学【1】 比較文化論【1】	人間関係論【1】 ジェンダー論【1】
教 育	自然科学	生物Ⅰ【1】 データサイエンス統計学【2】 物理学【1】 化学Ⅱ【1】 スポーツ実習【1】	生物Ⅱ【1】 基礎数学【1】 化学Ⅰ【1】 スポーツ科学【1】		
	外国語	英語購読・記述【2】 英会話Ⅰ【2】 フランス語【2】	英会話Ⅱ【2】 中国語【2】	英会話Ⅲ【2】	専門英語【2】
	情報科学	情報リテラシー【2】	情報科学【2】		

診療情報管理士受験プログラムを整備  
3年次前期までに診療情報管理士受験に必要な科目を配量。3年後期  
には診療情報管理士の受験資格を得て受験することができず（在学  
中に2回の受験チャンス）

多彩な資格取得に対応  
2年次に初級システムアドミニストレータ、3年次に基本情報処理技  
術、4年次に医療情報技師の資格を取得できるよう指導します。

臨床に即した情報処理技術を修得  
電子カルデシステムをはじめ病院内で必要となる情報処理技術を修  
得。『病院実習・企業実習』では、診療情報管理業務や電子カルデシ  
ステムの運用・開発の実験を学びます。

チーム医療を実践する  
看護学科、医療栄養学科と共通で学ぶプログラム、医療現場におけ  
る実際のシステム運用について学び、情報の専門家という立場でチ  
ーム医療に貢献します。